



ポータブルマルチガスモニター  
GX-6000用  
PIDリスト設定プログラム  
SW-GX-6000PID  
取扱説明書

**理研計器株式会社**

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6  
ホームページ <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

## 目次

	頁
1. はじめに	3
1-1. このプログラムの目的と特徴	3
2. インストールとアンインストール	4
2-1. 使用環境の注意点	4
注意：CD-ROMの取り扱いの注意点	4
2-2. ソフトウェアのインストール	4
2-3. インストール作業の流れ	5
注意：再インストールにおける過去データの保存	8
注意：Windows 7 / 8 / 10でのインストール注意点	8
2-4. アンインストール作業	9
3. 操作方法	11
① GX-6000からPIDリストデータをダウンロードする	12
② 各種データの編集	14
③ GX-6000にPIDリストデータをアップロードする	17
④ GX-6000本体の電源をオフにする	18
⑤ ファイルの保存と読み込み	19
4. 使用上の注意点	21
5. トラブルシューティング	22
6. IrDA仕様	23
6-1. 赤外線通信について	23
6-2. 通信開始の状態表示	23
7. ファイル構成	24
7-1. インストールディレクトリ	24
7-2. 運用中のカレントディレクトリ	24
8. ソフトウェア機能諸元	25

## 1. はじめに

本取扱説明書に記されている操作方法及び、注意事項は、指定の使用目的に使用する場合のみ適用するものです。本取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合は、当社としては責任は負いかねます。

本取扱説明書では、Microsoft Windows 7、Windows 8 および Windows 10 のコマンド選択やダイアログボックスの設定などの基本的な共通操作については説明していません。初めて Windows をお使いになる方は、最初に Windows のマニュアルなどをお読みになり、Windows の基本的な操作方法を覚えてください。

### 警告

本製品のプログラム配布用 CD の種類は「CD-ROM」です。  
一般オーディオ用 CD プレーヤーなどでは絶対に再生しないでください。  
大音量により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。

## 注意

### ポインティングデバイスの必要性

本ソフトウェアは、マウス・タッチパッドなどのポインティングデバイスを必要とします。  
キーボードのみでの操作は出来ません。

### 1-1. このプログラムの目的と特徴

本プログラムは、GX-6000 の PID リスト (VOC 読み替えガスリスト) の編集を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアでは次のことを行うことができます。

- ・ GX-6000 本体で表示する PID リスト (VOC 読み替えガスリスト) を編集することができます。
- ・ よく選択するガス種をユーザーリストに設定し (最大 30 種類)、本体でガス種を選択しやすくなることができます。
- ・ 各ガスの警報点を設定することができます。
- ・ GX-6000 の測定画面上に表示されるガス名 (省略名) を変更することができます。(初期設定は「VOC」です。)

## おことわり

- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転載あるいは複製することは、法令に別段の定めがある場合を除き、堅く禁じられています。
- 本書の内容は、本製品の改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品をご使用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾契約書」にご同意いただくことが必要です。パッケージを開封された際に、同条項へのご同意があったものとさせていただきますので、ご了承ください。
- 本ソフトウェアは、所定の目的以外の使用はできません。取扱説明書に従わず本ソフトウェアを使用した場合、あるいは独自の改造をした場合、製品の安全と品質が維持できなくなる場合があります。また、これらによって事故が発生した場合は責任を負いかねます。

(c) Copyright 2016 Riken Keiki co.,Ltd. All rights reserved.  
本ソフトウェアの著作権は理研計器株式会社が保有しています。

Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## 2. インストールとアンインストール

### 2-1. 使用環境の注意点

本プログラムは、Microsoft 社製のオペレーティングシステムである、Microsoft Windows 7、Windows 8 および Windows 10 上での使用が可能です。他のオペレーティングシステム上での使用は出来ませんのでご注意ください。

本プログラムのインストール時には、容量に十分余裕のある状態でご使用ください。

### 注意

#### CD-ROM の取り扱いの注意点

1. CD-ROM の保管  
直射日光が当たる場所や高温多湿の場所での保管はしないでください。
2. CD-ROM ドライブの指定  
スロットインタイプの CD-ROM ドライブでのご使用は避けてください。  
CD-ROM に貼付してあるラベルが影響して、CD-ROM の取り出しが上手く出来ないことがあります。  
ご使用になる CD ドライブは、トレイ方式をご使用ください。

### 2-2. ソフトウェアのインストール

ご使用になる、パーソナルコンピュータの CD-ROM ドライブに本プログラムの納められたインストール CD をセットします。しばらくするとインストール画面が自動的に起動します。

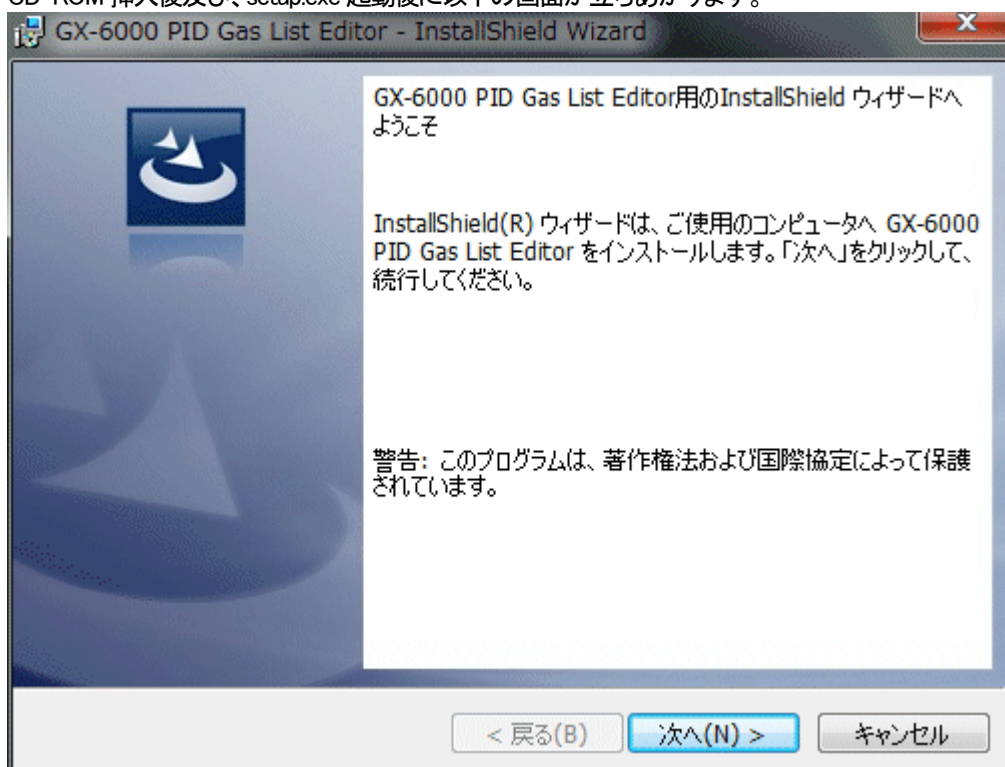
ご使用のパーソナルコンピュータが CD-ROM 自動起動処理に対応していない場合は、以下の方法で作業を進めます。

1. エクスプローラーで CD-ROM ドライブを開きます。
2. “setup.exe” ファイルをダブルクリックします。

## 2-3. インストール作業の流れ

## ● セットアップの起動

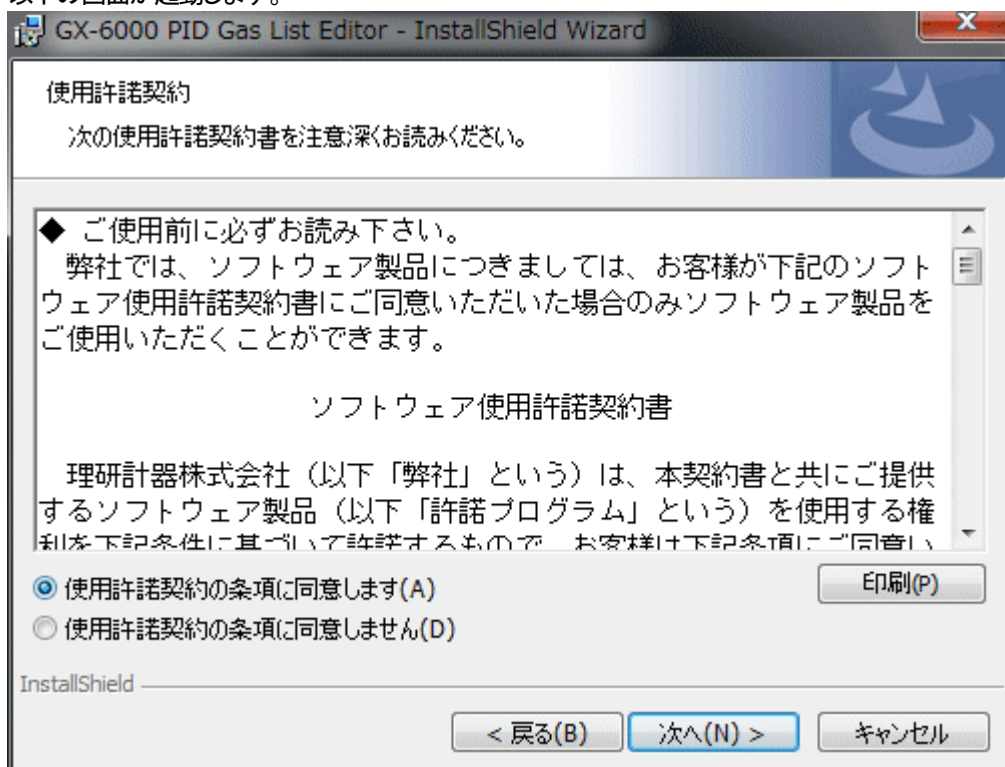
CD-ROM 挿入後及び、setup.exe 起動後に以下の画面が立ちあがります。



## ● 使用許諾の同意

“次へ”ボタンをクリックしてください。

以下の画面が起動します。



インストールを行う場合は“次へ”、中止する場合は“キャンセル”ボタンをクリックしてください。  
注意: ソフトウェア使用許諾契約書の内容を十分ご理解の上、本ソフトウェアのインストールを進めてください。

## ● ユーザー情報

“次へ”ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "GX-6000 PID Gas List Editor - InstallShield Wizard". The main heading is "ユーザー情報" (User Information) with the instruction "情報を入力してください。" (Please enter information.). There are two input fields: "ユーザー名(U):" (User Name) containing the text "test", and "所属(O):" (Organization). At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner.

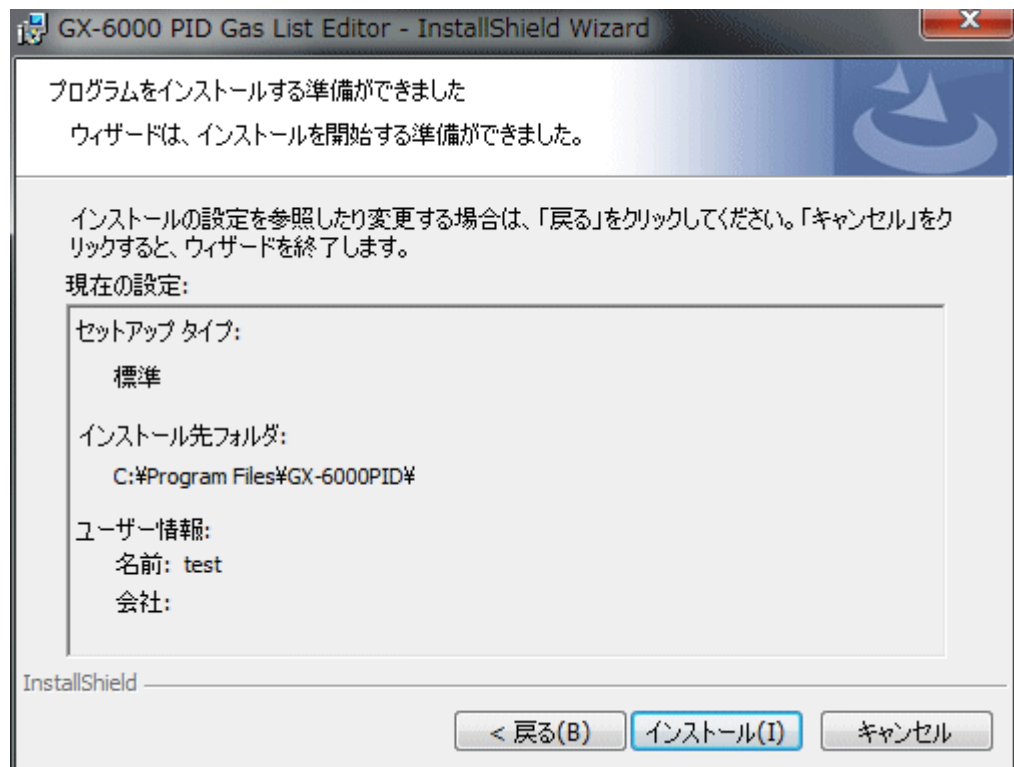
“次へ”ボタンをクリックします。

## ● インストール先のフォルダ

The screenshot shows a dialog box titled "GX-6000 PID Gas List Editor - InstallShield Wizard". The main heading is "インストール先のフォルダ" (Installation Folder) with the instruction "このフォルダにインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。別のフォルダにインストールする場合は、「変更」をクリックします。" (If you want to install in this folder, click "Next". If you want to install in a different folder, click "Change"). There is a folder icon next to the text "GX-6000 PID Gas List Editor のインストール先:" (Installation destination for GX-6000 PID Gas List Editor) and the path "C:\Program Files\GX-6000PID\". A "変更(C)..." (Change...) button is to the right. At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner.

“次へ”ボタンをクリックします。

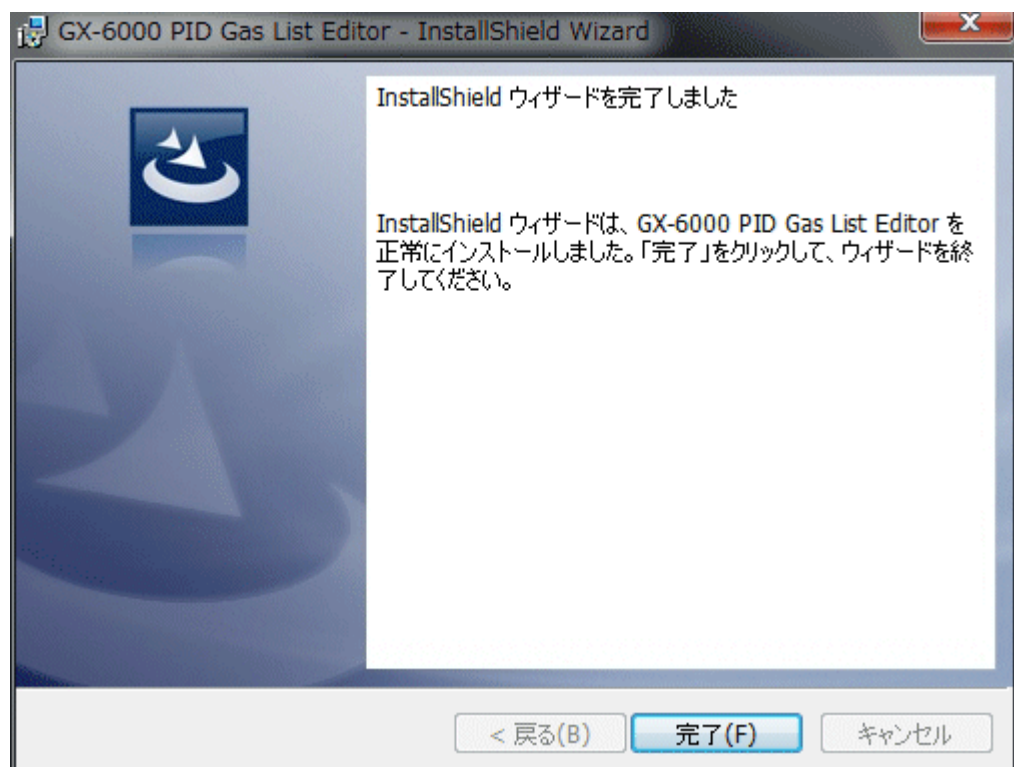
## ● セットアップの開始



“次へ”ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

## ● 完了

セットアップ作業が終了すると以下の画面が表示されます。



セットアップ完了後は、直ちに本プログラムがご使用になれます。

**注意****再インストールにおける過去データの保存**

再インストールを行う場合は、以下の事柄に注意してください。

1. 一度アンインストールを行ってから、再度インストール作業をしてください。
2. 運用したあとで、アンインストールを行った場合、ファイルが完全に消きれず残っています。このうち“GX6000.mdb”はデータベースファイルです。過去データを保存しておきたい場合は、このファイルを別の場所に保存し、フォルダを消去してください。

**注意****Microsoft Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 でのインストール注意点**

本ソフトウェアは Windows システムに各種ドライバーなどのライブラリが必要で、インストール時に自動的に組み込み処理が起動されます。

システムライブラリをインストールする際にアドミニストレータ(管理者)権限でのインストールを要求されます。

この場合は指示に従い、アドミニストレータでログオンし、システムライブラリをインストールしてください。

その後システムの再起動を要求されますので、再起動後に一般ユーザーでログオンしなおし、アプリケーションのインストールを行います。

(ライブラリも、アプリケーションも CD-ROM 内の setup.exe を起動すれば、OK です。システムフォルダ内に必要なライブラリがない場合のみアドミニストレータ権限でのインストールが必要になります。)

**ネットワーク接続環境下での使用について**

ネットワークに接続されているパーソナルコンピュータにインストールする場合は、以下の内容をご確認ください。

IrDA 通信は TCP/IP 技術(インターネットなどに使用されている通信技術)の一部を使っており、特殊な通信グループ・IP アドレスを使用します。

これに伴い、強固なインターネットセキュリティソフトウェアが通信を拒否する場合があります。

可能な限りネットワークに接続されていないコンピュータで使用してください。

また、仕方なくネットワークに接続されているコンピュータの場合は、セキュリティ設定を十分ご検討いただいた上で使用してください。

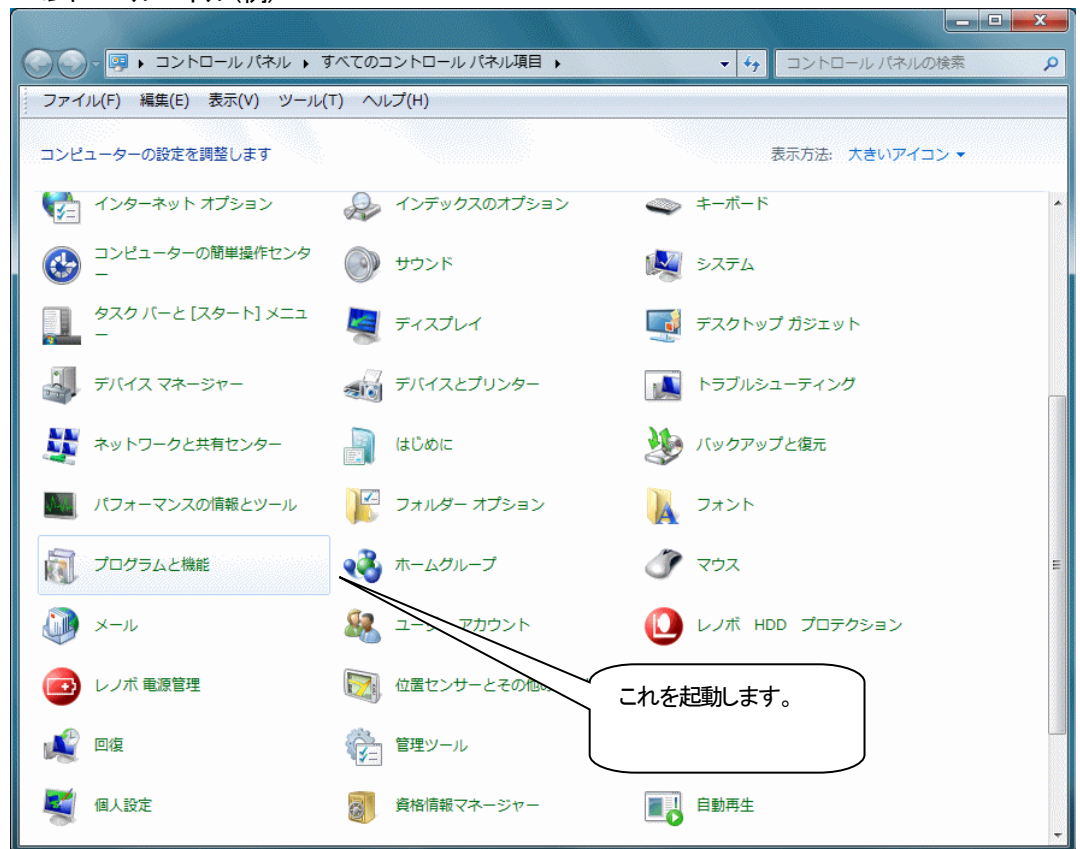


## 2-4. アンインストール作業

## ● 起動

アンインストールは、タスクバーの“スタート”から“設定”をクリックし、その中にある“コントロールパネル”を起動します。

## コントロールパネル(例)

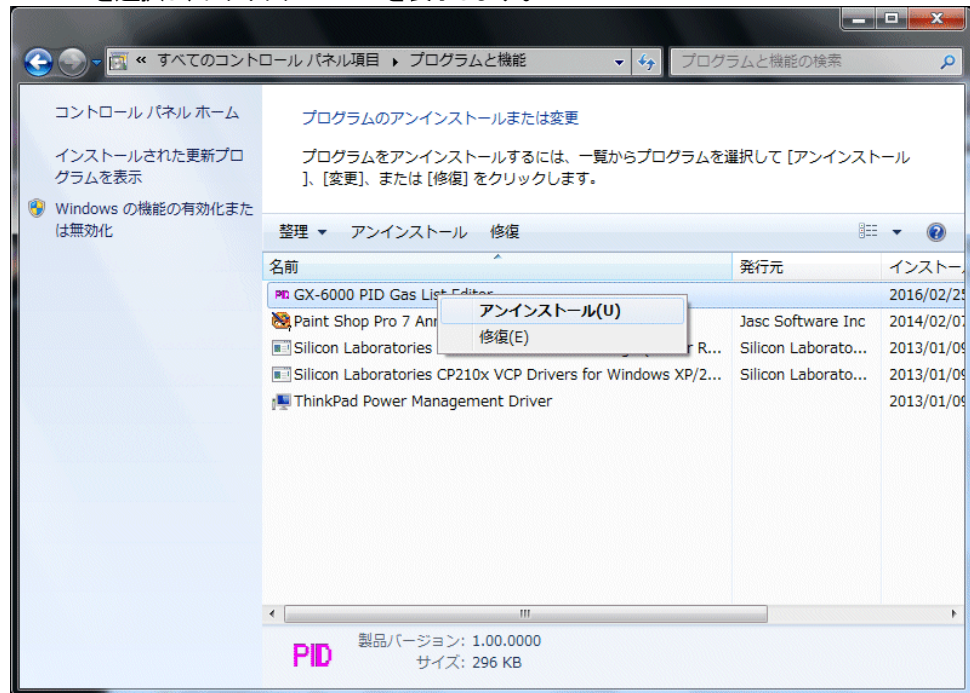


コントロールパネル内の、“プログラムと機能”をダブルクリックし、起動します。

### ●GX-6000 PID Gas List の選択

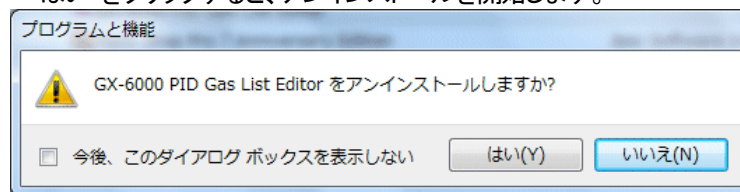
以下の画面が起動します。

コントロールパネルで、プログラムの追加と削除を選びます。以下の画面から“GX-6000 PID Gas List Editor”を選択し、右クリックメニューを表示します。



### ● 削除開始

“はい”をクリックすると、アンインストールを開始します。



注意:アンインストール中に“共有コンポーネントを削除しますか?”とメッセージが出る場合があります。“全て削除”を選ぶと、他のアプリケーションに影響を与える場合がありますので、“全て残す”を選択してください。

### 3. 操作方法

デスクトップのショートカット“GX-6000”、またはスタートメニューをクリックし、“プログラム”を起動します。

アプリケーションの起動直後は、初期状態の PID リスト (VOC 読み替えガスリスト) が表示されます。  
 初期状態の PID リストを編集 (終了時に「現在のリストを保持する」を選択) した場合、最後に保存したリストのデータを表示します。

The screenshot shows the 'PID Gas List Editor' window with a table of gas data. The interface includes buttons for 'ダウンロード' (Download), 'アップロード' (Upload), '開く' (Open), and '保存' (Save). A 'ユーザーリスト表示' (User List Display) checkbox is present, and a '本体電源オフ' (Power Off) button is in the top right. The table lists various gases with their chemical formulas, coefficients, and detection limits. Callouts 1 through 6 describe the workflow: 1. Downloading the list from the device. 2. Checking all gas checkboxes. 3. Uploading the edited list. 4. Turning the device power on. 5. Saving the edited list. 6. Opening the saved list.

ガス名	化学式	係数	省略名	[ppb] 1st 警報	[ppb] 2nd 警報	[ppb] STEL	[ppb] TWA	[ppm] 報
Acetaldehyde	C2H4O	3.4	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetamide	C2H5NO	2	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetic acid	C2H4O2	36.2	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetic anhydr...	C4H6O3	4	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetoin	C4H8O2	1	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetone	C3H6O	0.7	VOC	5000	7500	-	-	500.0
Acetophenone	C8H8O	0.6	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetyl bromide	C2H3BrO	3	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acetylglycine,...	C4H7NO3	2	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acrolein	C3H4O	3.2	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Acrylic Acid	C3H4O2	2.7	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Alkanes, n-, C...		1	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Allyl alcohol	C3H6O	2.1	VOC	5000	10000	-	-	400.0
Allyl bromide	C3H5Br	3	VOC	5000	10000	-	-	400.0

658/658 アイテム 0 エラー  全てチェック

データの通信は GX-6000 本体を適切な位置に置き、本プログラムが起動した状態で、本体の電源を ON すれば自動的に通信可能か判断し、通信可能であれば受信待機状態になります。

## ① GX-6000 から PID リストデータをダウンロードする

## ● 本体の準備

1. 本ソフトウェアを起動します。
2. GX-6000 本体を、電源を切った状態で通信可能な位置に置きます。



3. GX-6000 本体の電源を ON にします。

**注意：**

**必ず、通信可能な位置に置いてから GX-6000 の電源を ON にしてください。  
電源 ON の状態で通信可能な位置に置いても接続できません。**

GX-6000 本体の液晶には右図のように表示されます。 →  
(GX-6000 の液晶の表示能力の関係上、多少見にくくなっています。)

コンピュータ  
接続

● PID リストの  
ダウンロード

GX-6000 本体から、PID リストをダウンロードすることができます。  
“ダウンロード”をクリックします。

省略名	[ppb] 1st 警報	[ppb] 2nd 警報	[ppb] STEL	[ppb] TWA	[ppm]			
VOC	5000	10000	-	-	4000			
VOC	5000	10000	-	-	4000			
Acetic acid	C2H4O2	36.2	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acetic anhydr...	C4H6O3	4	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acetoin	C4H8O2	1	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acetone	C3H6O	0.7	VOC	5000	7500	-	-	5000
Acetophenone	C8H8O	0.6	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acetyl bromide	C2H3BrO	3	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acetylglycine,...	C4H7NO3	2	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acrolein	C3H4O	3.2	VOC	5000	10000	-	-	4000
Acrylic Acid	C3H4O2	2.7	VOC	5000	10000	-	-	4000
Allanes, m-, C...		1	VOC	5000	10000	-	-	4000
Allyl alcohol	C3H6O	2.1	VOC	5000	10000	-	-	4000
Allyl hmide	C3H5Pr	3	VOC	5000	10000	-	-	4000

通信中には次の画面が表示されます。

通信中...

中止

画面上の PID リストが更新され、ダウンロード完了画面が表示されます。

GX6000PID

ダウンロード完了

OK

ウインドウタイトルに GX-6000 のシリアル番号が表示されます。

GX-6000 PID Gas List Editor - ダウンロード(52F01112010000000000)

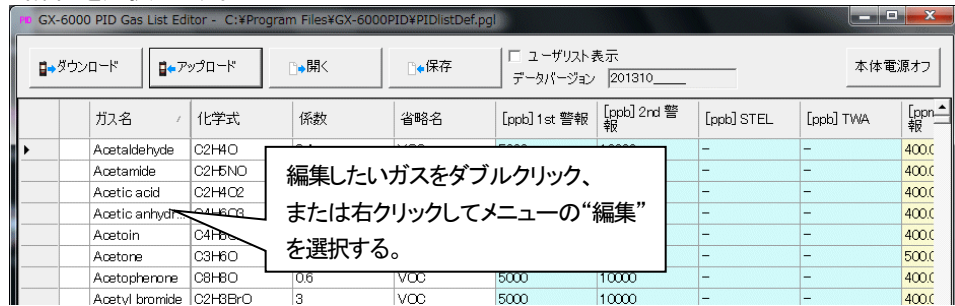
ダウンロード

※ダウンロードされるリストには、GX-6000 本体にアップロードされているガスのみ表示されます。  
アップロードの対象を全数にしていない場合、初期のリストより少なくなります。

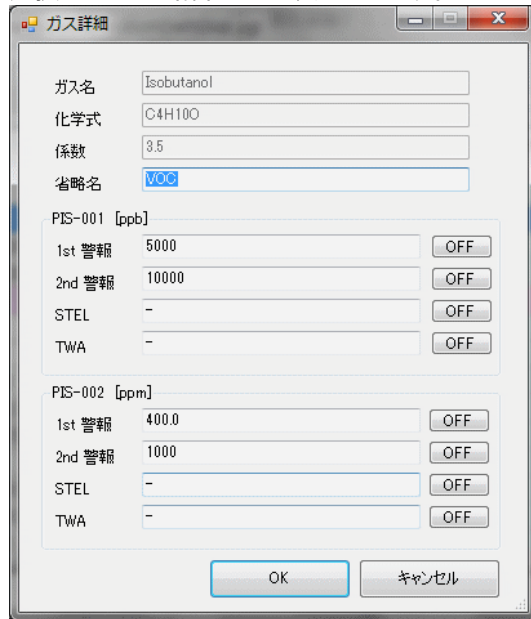
② 各種データの編集

● 省略名、警報点の設定

PIDリスト上の編集したいガスをダブルクリック、または右クリックして表示されるメニューの“編集”を選択します。



選択したガスの編集画面が表示されます。



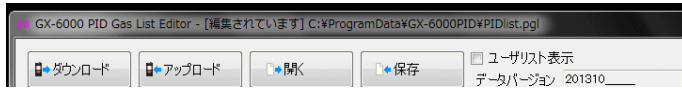
省略名と各警報点が編集できます。

項目	説明	
ガス名	編集不可	
化学式	編集不可	
係数	編集不可	
省略名	半角 1~3 文字、(初期値: VOC)	
PIS-001A	1st 警報	≤40000 、1st 警報 ≤ 2nd 警報、(初期値: 5000)
	2nd 警報	≤40000 、1st 警報 ≤ 2nd 警報、(初期値: 10000)
	STEL	≤40000 、(初期値: - )
	TWA	≤40000 、(初期値: - )
PIS-002A	1st 警報	≤4000 、1st 警報 ≤ 2nd 警報、(初期値: 400.0)
	2nd 警報	≤4000 、1st 警報 ≤ 2nd 警報、(初期値: 1000)
	STEL	≤4000 、(初期値: - )
	TWA	≤4000 、(初期値: - )
PIS-003	1st 警報	≤100 、1st 警報 ≤ 2nd 警報、(初期値: 5.00)
	2nd 警報	≤100 、1st 警報 ≤ 2nd 警報、(初期値: 10.00)
	STEL	≤100 、(初期値: - )
	TWA	≤100 、(初期値: - )

※ PIS-003について、1st 警報、2nd 警報、TWA 警報はノーマルモードでの測定時のみ動作します。ベンゼンセレクトモードでは STEL 測定時に STEL 警報のみ動作します。



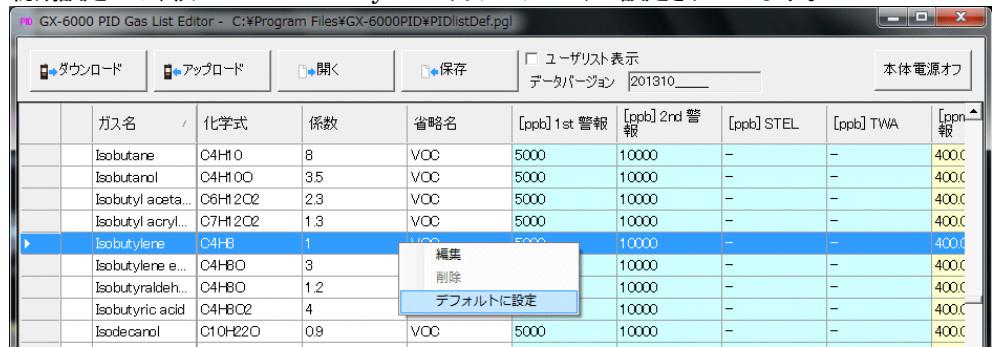
- OFF** … 各警報点をオフ設定します。“-”が表示されます。
- OK** … PID リスト画面に反映します。  
編集した場合、ウインドウタイトルに次のように表示されます。



- キャンセル** … 編集内容を放棄して、PID リスト画面に戻ります。

● デフォルトで表示するガスの設定

次回 GX-6000 本体起動時に表示するガスを 1 種設定できます。  
デフォルトに設定したいガスを右クリックし、表示されたメニューの“デフォルトに設定”を選択します。  
デフォルトに設定されたガスは、背景色がピンク色になります。  
初期設定では、校正ガスの“Isobutylene”（イソブチレン）に設定されています。



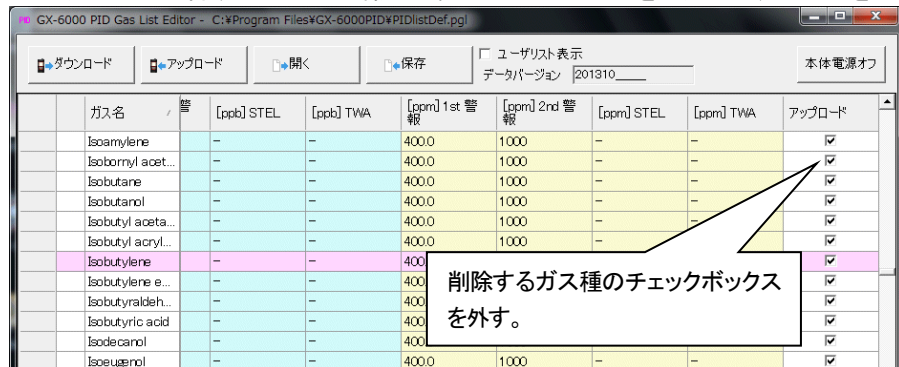
注意：

GX-6000 本体で、デフォルト設定したガス種から別のガスに設定を変更した場合、次回本体起動時は、デフォルト設定のガスではなく、本体で最後に選択したガスを選択した状態となります。

● GX-6000 本体で表示するガスの設定

選択しないガスは PID リストから削除することができます。選択するガスのみリストに残すことで、GX-6000 本体でのガス選択をより簡単に行うことができます。  
初期状態では、全てのガスがチェックされています。

PID リストから削除するガスの右端列にあるチェックボックスをクリックし、チェックを外します。

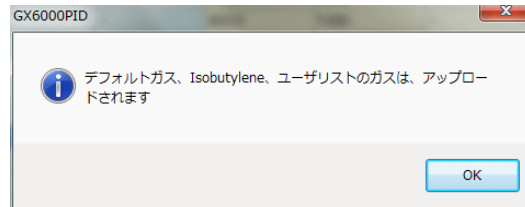


画面右下の“全てチェック”のチェックを入れると、全てのガスが選択され、チェックを外すと次の3種類以外のチェックが外れます。

<必ず選択されるガス>

- ①デフォルト設定のガス (“デフォルトで表示するガスの設定”を参照)
- ②“Isobutylene” (イソブチレン)
- ③ユーザーリスト設定ガス (“ユーザーリストの設定”を参照)

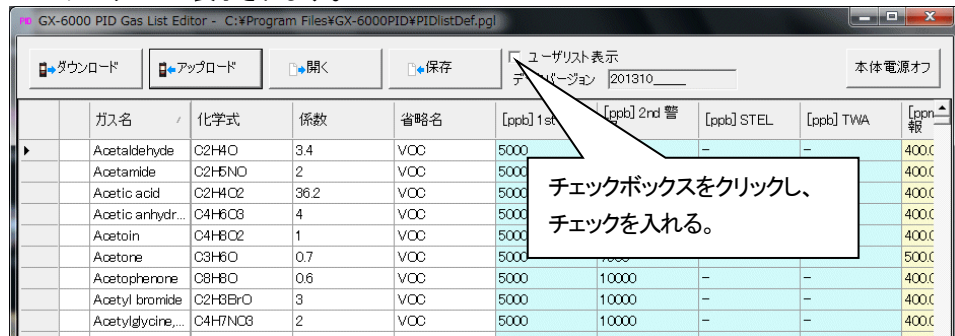
チェックを外すと次の画面が表示されます。



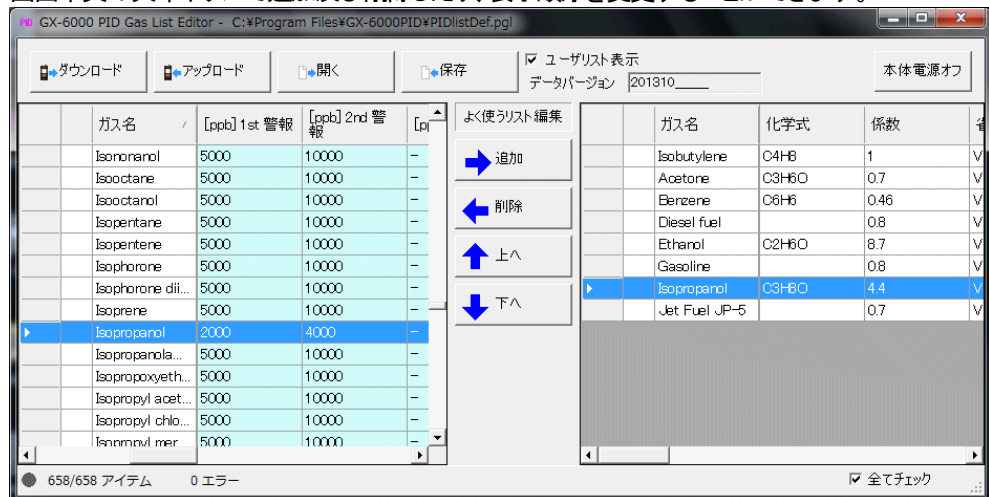
● ユーザーリストの設定

選択する頻度の高いガスを GX-6000 本体にて選択しやすくするため、ユーザーリストにお気に入りのガス種を最大 30 種類まで設定することができます。

“ユーザーリスト表示”のチェックボックスをクリックしてチェックを入れると、画面右半分ユーザーリストが表示されます。



画面中央の矢印ボタンで追加及び削除したり、表示順序を変更することができます。



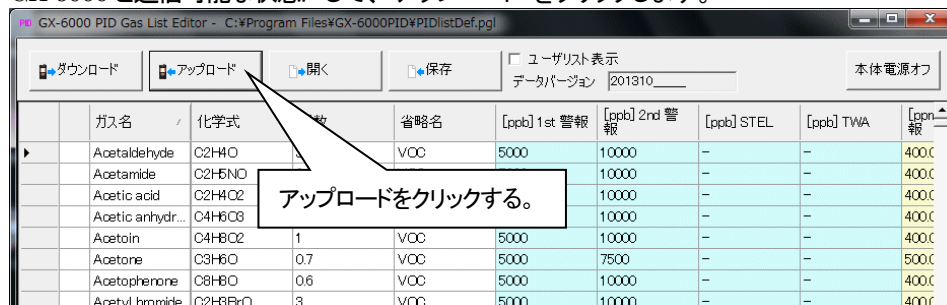
※校正ガスである“Isobutylene” (イソブチレン) は自動でガスリストに登録され、削除することはできません。



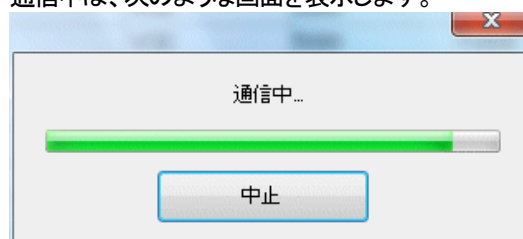
③ GX-6000 に PID リストデータをアップロードする

GX-6000 本体の PID リストを更新します。

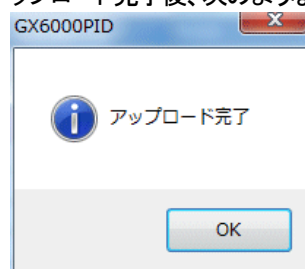
GX-6000 と通信可能な状態にして、“アップロード”をクリックします。



通信中は、次のような画面を表示します。



アップロード完了後、次のような画面を表示します。



④ GX-6000 本体の電源をオフにする

● 電源 OFF

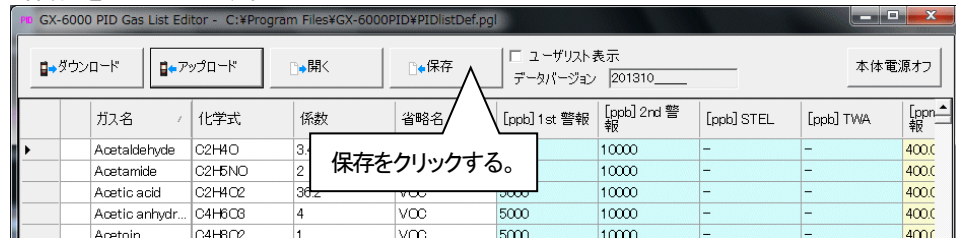
“本体電源オフ”をクリックすると、通信中の GX-6000 本体の電源をオフにします。



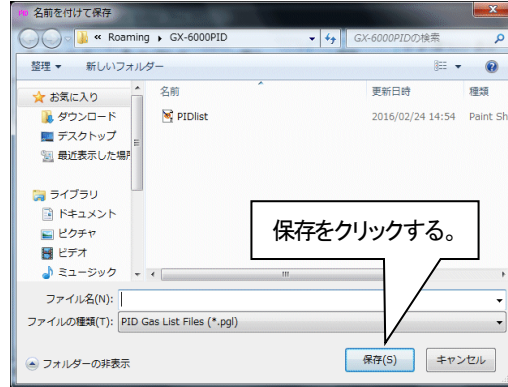
⑤ ファイルの保存と読み込み

● ファイルの保存

編集した PID リストに名前を付けて保存することができます。  
 “保存”をクリックします。

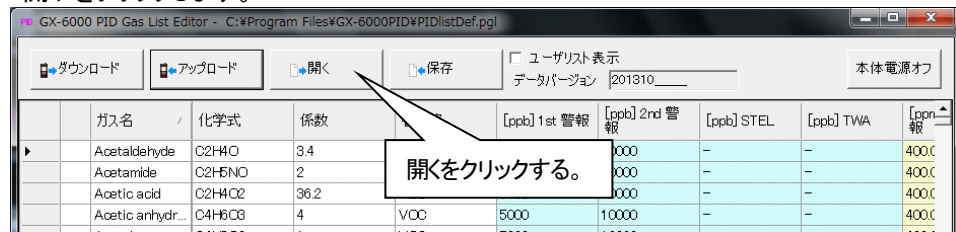


ファイルの保存先を指定し、名前を付けて“保存”をクリックします。

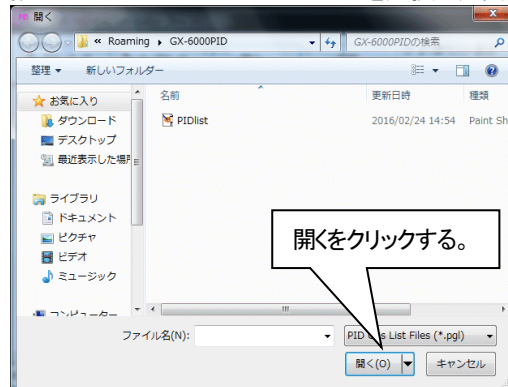


● ファイルの読み込み

保存されている PID リストのデータを開くことができます。  
 “開く”をクリックします。

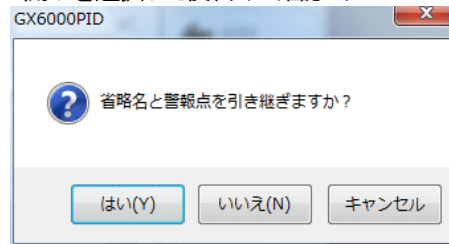


読み込みたい PID リストのデータを選択し、“開く”を選択します。



“開く”を選択した後、次の確認メッセージが表示されます。

“開く”を選択した後、次の確認メッセージが表示されます。



- はい** … 開こうとしている PID リストと、画面上の PID リストのガス名が一致する場合、画面上の PID リストの省略名と警報点がリストに反映されます。  
その他は開くリストの内容が表示されます。  
ウインドウタイトルにファイル名と共に“編集されています”と表示されます。
- いいえ** … 全て開こうとしている PID リストの内容が表示されます。

※初期のリストはインストールフォルダに保存されています。(データ名:PIDlistDef.pgl)  
“ファイルの読み込み”手順に従い、初期のリストに戻すことができます。

## 4. 使用上の注意点

本プログラムをご使用の場合は、以下の項目について十分配慮するようお願いいたします。

- ① データ受信時は、適切な位置に GX-6000 があることを確認してください。適切でない場合は、正常に通信できません。
- ② 受信中は、同時に他のアプリケーションでも同じような操作をするようなことは避けてください。(たとえば、データ受信中に他のアプリケーションで赤外線通信を行うような行為)
- ③ 本プログラムを強制終了しないでください。(Ctrl + Alt + Del での操作など)本プログラムは終了処理時に設定パラメータを保存し、次回起動時に備えます。そのため、強制終了した場合は、次回起動に障害をもたらす可能性があります。
- ④ データファイルを直接書きかえることはしないでください。

## 5. トラブルシューティング

症状	原因	解決策
通信が出来ない。	本体位置が悪い。障害物がある。	本体の位置を変える。
	他に赤外線を使うものがある。	他機器の電源をOFFにするか干渉しないようにする。
通信中にエラーが出る。	外乱光がある。	赤外線を使うものを排除する。
	通信中に GX-6000 本体を動かしてしまっている。	通信中は GX-6000 本体を動かさないようにする。
通信データがおかしい。	外乱光がある。	赤外線を使うものを排除する。

上記対策でも直らない場合は、弊社サービスへご連絡ください。

## 6. IrDA 仕様

### 6-1. 赤外線通信について

本体とは、赤外線通信(IrDA プロトコル)にて通信を行います。

ご使用のコンピュータが赤外線通信可能か確認してください。

また、本体の赤外線通信ポートとパーソナルコンピュータの通信ポートが一直線になるようにし、他の光の干渉を抑えるようにしてください。

**注意:**

このプログラムは IrDA が使用可能な環境でのみ、GX-6000 本体と通信が行えます。ご使用のパーソナルコンピュータに IrDA 装置が内蔵されているか、使用可能な状況になっているかご確認をお願いします。

また、IrDA 装置が内蔵されていない機器(ほとんどのデスクトップ型と一部のノート型)の場合は市販の IrDA⇄USB 変換器などをご使用ください。

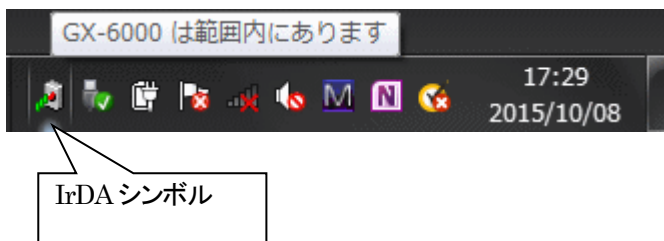
### 6-2. 通信開始の状態表示

通信が開始されるときにオペレーティングシステムが赤外線を持った装置があることを認識し、タスクバーに表示されます。

その表示で、通信状態をある程度把握することができます。

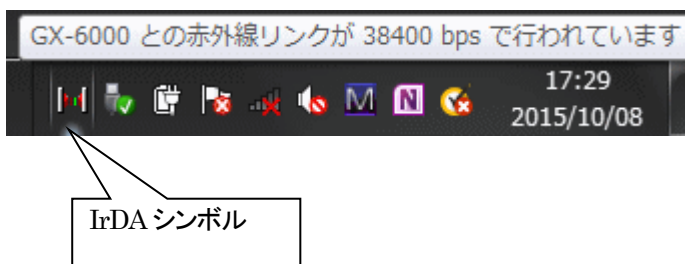
**注意:** オペレーティングシステムならびに IrDA ドライバーの設定で表示内容などが異なる場合があります。

#### 6-2-1. オペレーティングシステムが GX-6000 を認識したときのタスクバーの表示



IrDA のシンボルが現れ、カーソルを重ねると「GX-6000 は範囲内にあります」と表示されます。

#### 6-2-2. PID リスト設定プログラムと GX-6000 本体が通信を行っているときのタスクバーの表示



IrDA のシンボルが通信のアニメーションに変化し、カーソルを重ねると「GX-6000 とのワイヤレスリンクがxxxxbpsで行われています」と表示されます。

\*「xxxx」は通信速度を示し、通常は 38400bps です。

**注意:**

GX-6000 本体や PID リスト設定プログラムの内部処理オーバーヘッド時間の関係上、回線速度が 38400bps 以上であれば全体の通信時間にほとんど変化はありません。これは、GX-6000 本体内でデータを作成している時間や、プログラムが受信データを解析している時間が比較的大きいためです。

## 7. ファイル構成

インストール時のファイル内容・運用時のファイル内容の詳細です。

### 7-1. インストールディレクトリ

ファイル名	詳細
GX6000PID.exe	GX-6000PID リスト設定プログラム本体 通信コンポーネント デフォルト PID リスト 日本語リソース(ja-JP サブフォルダ内)
RKCommLibrary.dll	
PIDlistDef.pgl	
GX6000PID.resources.dll	

### 7-2. 運用中のカレントディレクトリ

ファイル名	詳細
PIDlist.pgl	終了時のリスト保持内容



## 8. ソフトウェア機能諸元

製品名(プログラム名)	GX-6000PID リスト設定プログラム
製品型式	SW-GX-6000PID
実行ファイル名	GX6000PID.EXE
使用可能 OS	Microsoft 社製 Windows 7 Windows 8 Windows 10
プログラム容量	本体部約 180KB、ライブラリ約 30KB
本体通信	赤外線(IrDA1.1 プロトコル)準拠方式 標準通信設定 ボーレート 38400bps(上限値) データビット 8ビット ストップビット 1ビット パリティ 偶数
転送時間	最大約 3 分(標準通信設定時、最大データ数時)
媒体	CD-ROM 1 枚
パッケージ内容	取扱説明書 製品保証 登録カード 使用許諾契約書